

# 気候変動： 経験者向け

グループサポートウェビナー

2026年6月



# 留意事項

- 本トレーニングは、「気候変動:経験者向け」セッションです。すでに初めて開示をされる場合は、別セッション「気候変動:初心者向け」をご確認ください。
- よくあるご質問は動画終盤でご確認いただけます。その他ご質問は、CDPヘルプセンターへお問い合わせください。
- 本トレーニングの無断掲載は禁止しております。



An aerial photograph of a dense green forest with a winding river or stream cutting through it. The river is a vibrant blue-green color, contrasting with the deep green of the trees. The river meanders across the landscape, creating a complex pattern of curves and bends.

# アジェンダ

はじめに: CDPを通じた環境情報開示のインパクト

---

開示経験者向け重要データポイント

- 再生可能エネルギー
  - 排出削減目標
  - スコープ3の報告
  - サプライチェーンに関する質問
  - その他の高度なデータポイント
- 

ベストプラクティスと主なリソース

# はじめに

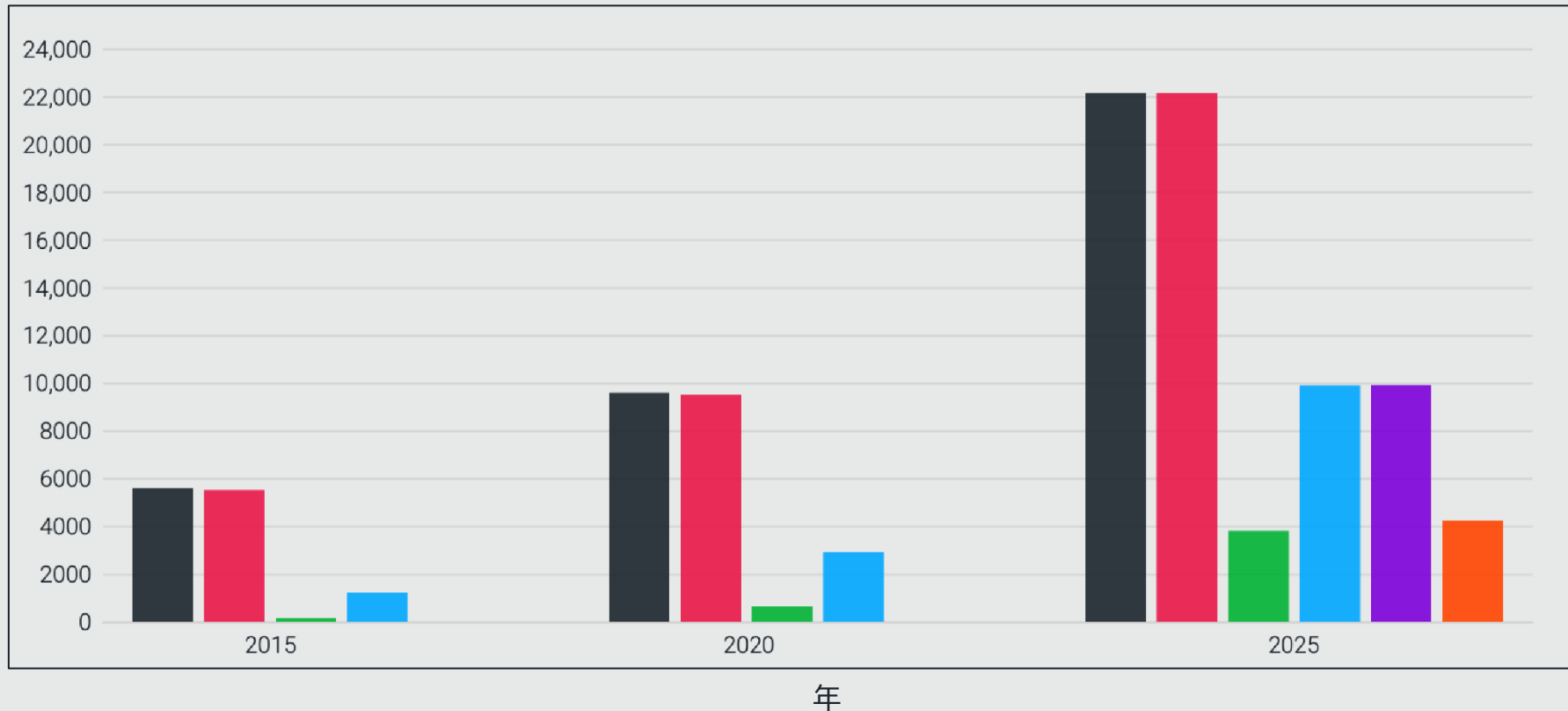
CDPを通じた環境情報開示のインパクト



# CDPを通じた環境情報の開示が世界的に増加

## 環境課題別の開示企業数数(2025)

■ 開示企業数(合計) ■ 気候変動 ■ 生物多様性 ■ 水セキュリティ ■ プラスチック ■ フォレスト



**22,100+** : 世界の時価総額の3分の2に相当する企業が開示。

**4,400+** : 2025年に初めて回答した企業数



# 開示の主なメリット



資金調達環境の改善し、  
サプライヤーとしての地位を向上

年間支出額が6.4兆米ドルに上る  
250以上の購買企業が調達決定に  
CDPのサプライヤーデータを利用  
しています。



リスク管理と新たな機会の創出で、  
業競争力を強化

**コスト削減:**カーボンフットプリント  
管理の改善により、資源消費の削減、  
廃棄物の削減、および業務効率の向上  
が期待できます。



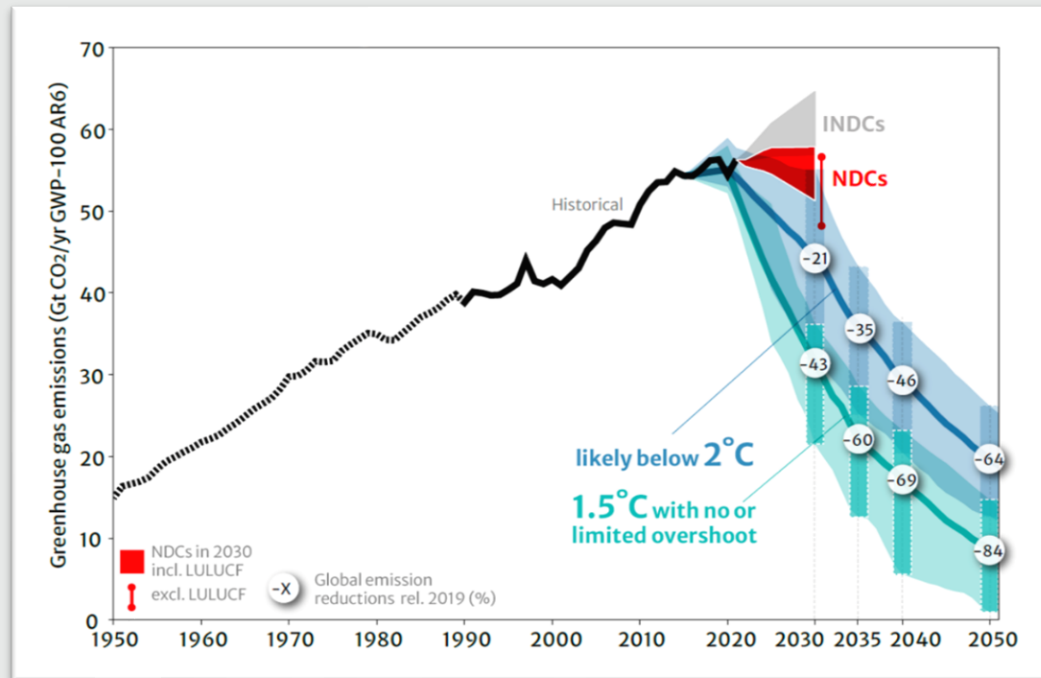
コンプライアンス基準への整合

CDPの開示プラットフォームは、  
購買企業や投資家にとって情報の  
整合性を高めます。



# 気候変動の情報開示はなぜ必要か

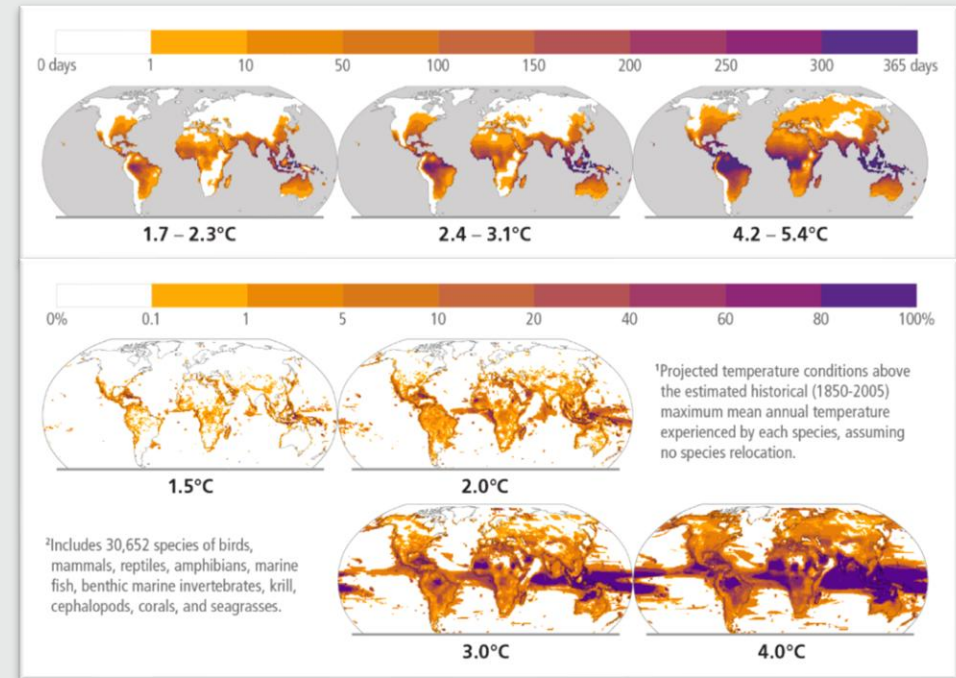
6.1兆ドル 2030年までに、約970兆円の資産が気候変動リスクに直面



統計：CDP 『The 2025 Disclosure Dividend』 (2025年)

図：国連 2023年。第1回グローバル・ストックテイク技術対話。

1.3兆ドル 開示企業が認識している機会は208兆円を超える



統計：CDP 『The 2025 Disclosure Dividend』 (2025年)

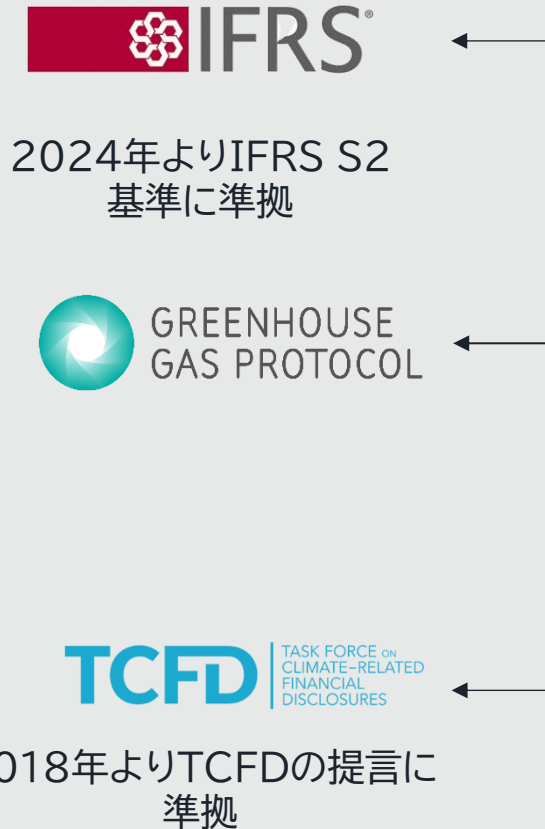
図：IPCC 2022. 『気候変動の緩和』、6<sup>th</sup> AR.



# 世界中の基準に準拠した開示を可能にする

CDPは、基準を組織が活用できる具体的な形に変換します。回答し、実行すべき質問やデータポイントを提供し、この質の高いデータを単一のデータセットとしてステークホルダーや市場に還元します。

## 整合済み



## 整合性の拡大



# 2026年の開示スケジュール



準備期間

開示期間

知見へのアクセス

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

4月20日週  
質問書データベース  
の公開

6月15日の週

CDPポータルが  
開示企業向けに  
オープン

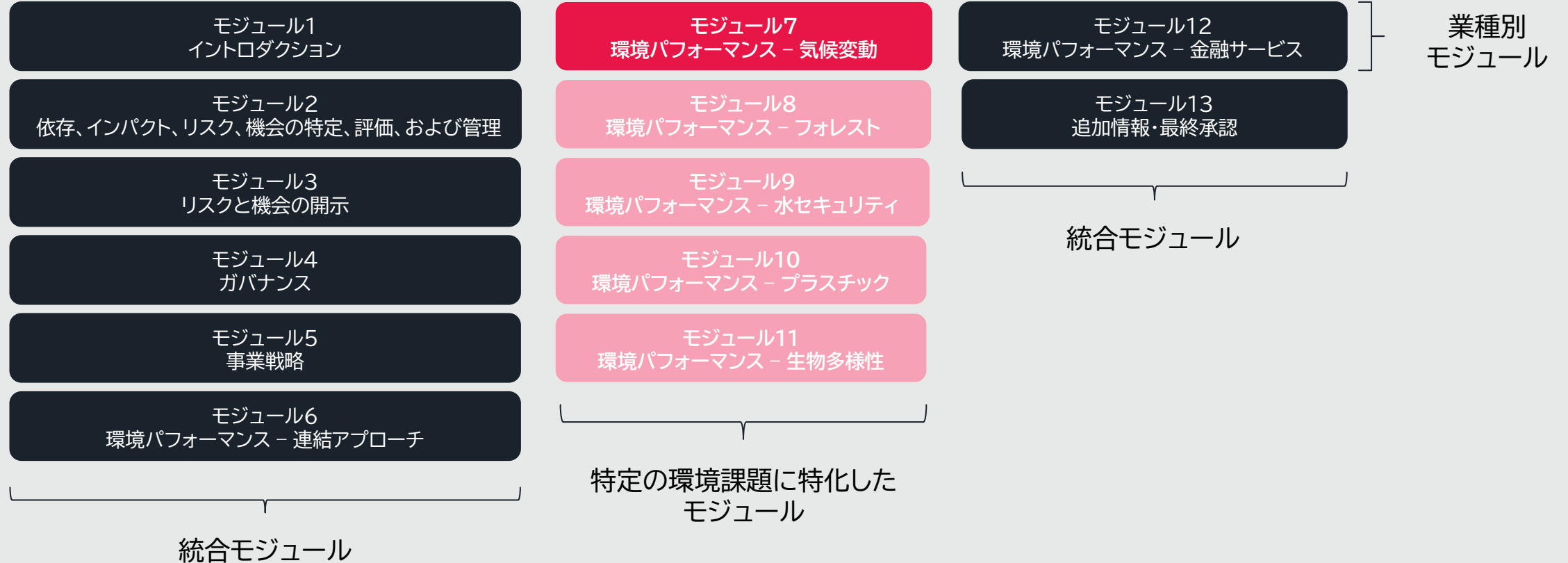
9月14日の週

スコアリング  
対象となる  
回答提出期限

11月30日の週  
2026年のスコアが  
CDPポータルで公開

10月26日の週:スコアリング  
対象外となる回答提出期限

# コーポレート質問書：完全版



# 2026年の主な変更点

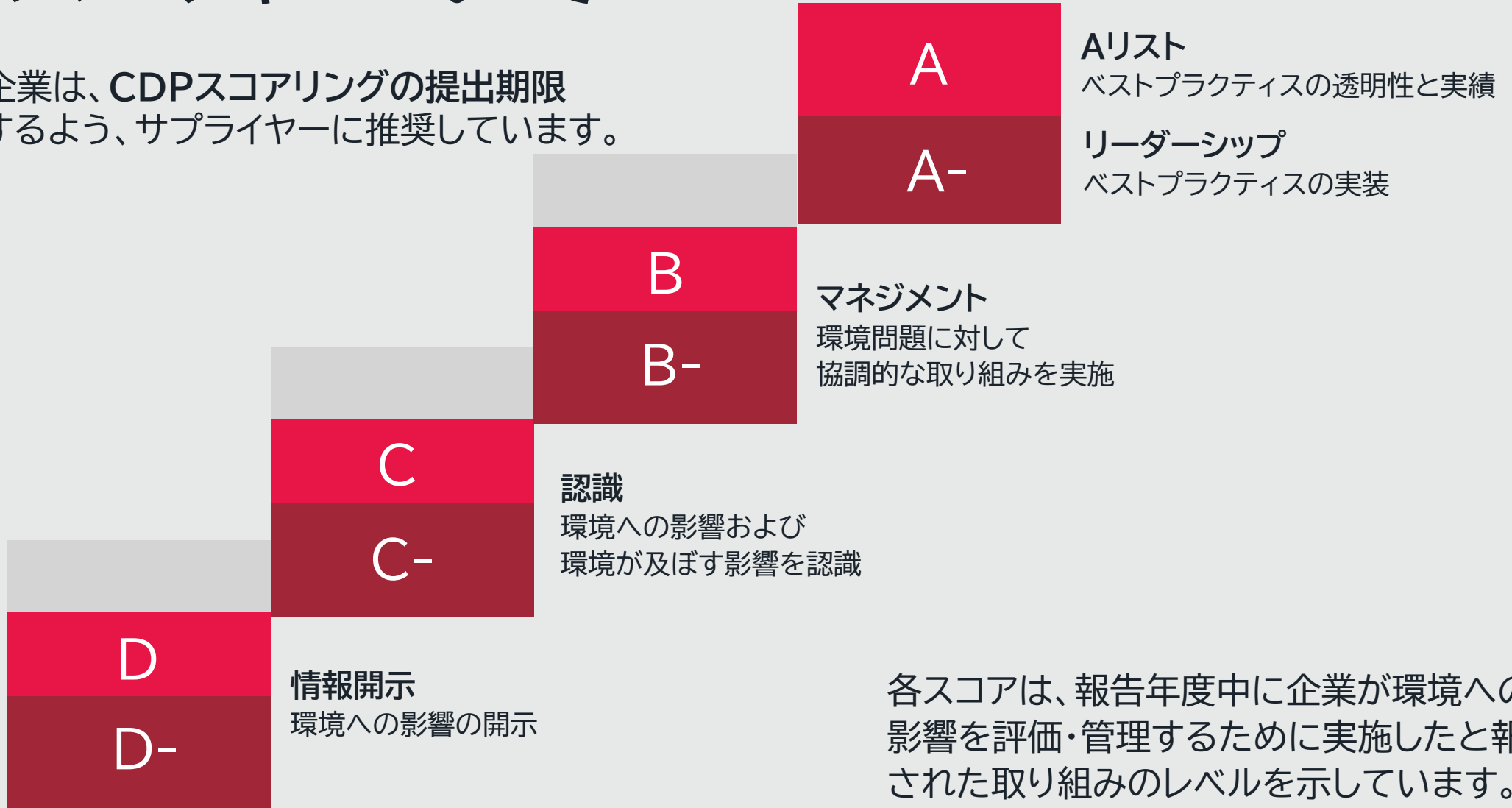
## 完全版質問書 - 気候変動

トピック	変更点の概要
エネルギー 【すべての開示企業】	「エネルギー関連活動」セクションが更新され、GHGプロトコルとの整合性が強化され、各質問における低炭素エネルギーおよび再生可能エネルギーの報告の一貫性が確保されました。
エネルギー 【RE100メンバーのみ】	RE100メンバーに対しては、再生可能電力の時間単位マッチング、契約期間およびバイオマス燃焼に関する情報の提供が求められるようになりました。
土地セクター・炭素除去基準 (LSRS)	GHGプロトコルの土地セクター・炭素除去基準(LSRS)およびガイダンスとの整合性に備え、組織は土地セクターの活動および炭素除去が自社に関連するかどうかを明示できるようになりました。旧GHGプロトコル「農業ガイダンス」に関連する既存の質問項目については、変更はありません。



# CDPスコアについて

一部の購買企業は、CDPスコアリングの提出期限までに回答するよう、サプライヤーに推奨しています。



各スコアは、報告年度中に企業が環境への影響を評価・管理するために実施したと報告された取り組みのレベルを示しています。

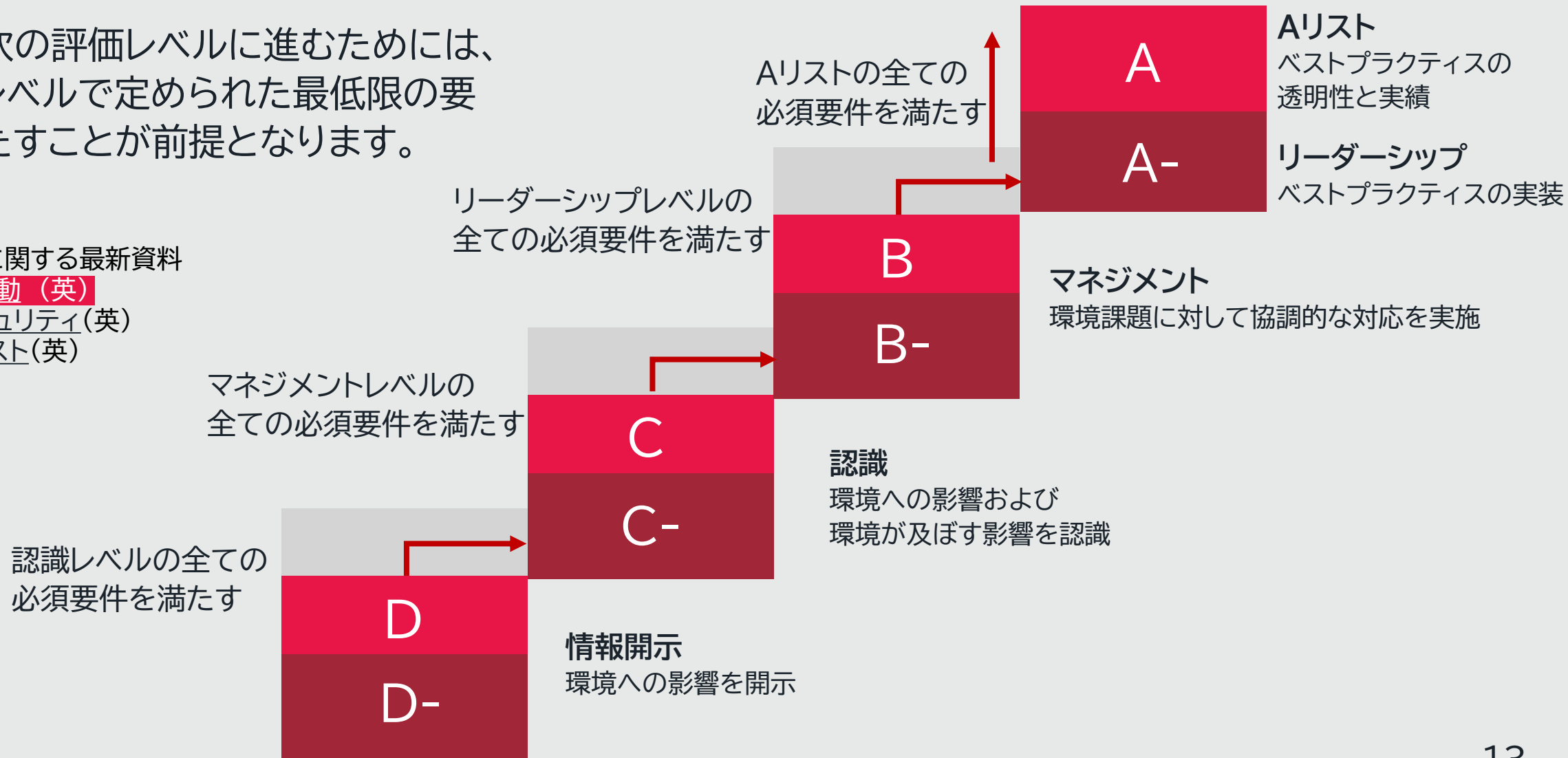


# 必須要件の適用

企業が次の評価レベルに進むためには、まず各レベルで定められた最低限の要件を満たすことが前提となります。

必須要件に関する最新資料

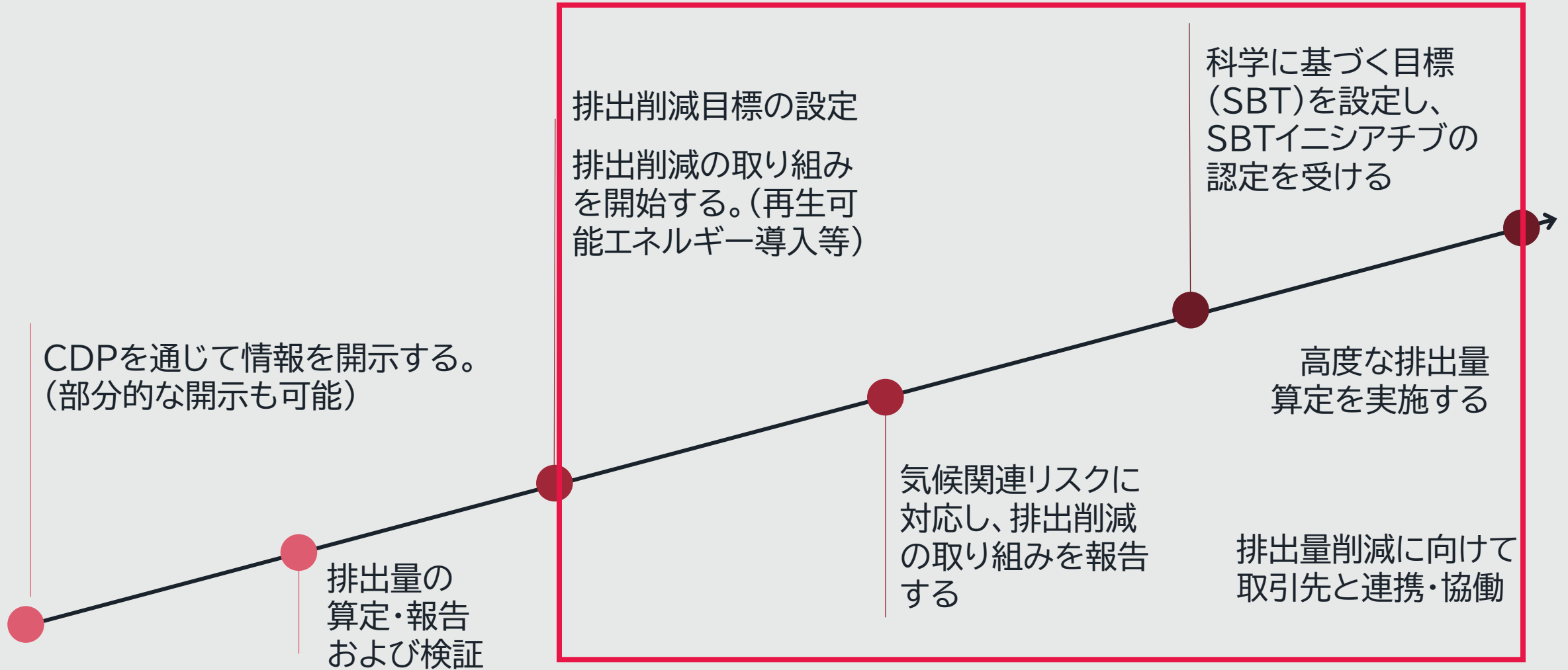
- [気候変動](#) (英)
- [水セキュリティ](#) (英)
- [フォレスト](#) (英)



# 開示者向けロードマップ



本セッションの範囲:



フェーズ1: 基盤の確立

フェーズ2: 能力の構築

フェーズ3: パフォーマンス向上

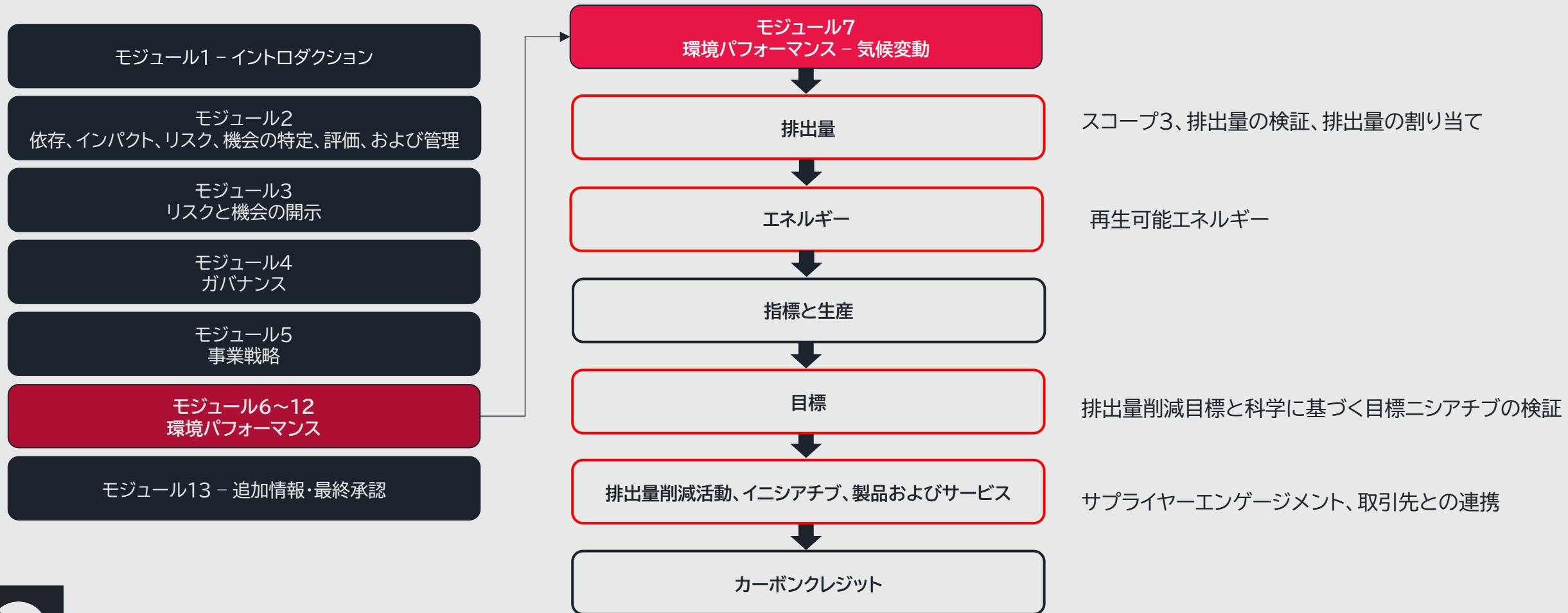
# 開示経験者向け重要データポイント

重点分野	質問番号	ガイダンス
再生可能エネルギーおよび低炭素エネルギー	7.30 7.30.1 7.30.15 7.30.17	
排出削減目標	7.53 7.53.1 7.53.2 7.54	ベースラインを設定し、目標を設定することで、排出量を削減するための行動を起こすという意志と、その野心レベルを示すことができます。目標は科学に基づくものであることが望ましいです。
スコープ3	7.8	
報告された排出量の検証	7.9	排出フットプリントを正確に算出するためには、その検証が不可欠です。
サプライチェーンに関する質問	7.45 7.26	
協働の機会	5.12	取引先と協働して、取引先と自社の排出量を削減する方法を提案してください。この協働により、業務の進め方に双方にとって有益な変化をもたらされる可能性があります。
気候移行計画	5.2	気候移行計画を策定することで、貴組織が長期的な地球規模の気候目標に沿って行動しており、ネットゼロカーボン経済においても貴組織のビジネスモデルが引き続き有効であることを取引先に示すことができます。
インターナル・カーボンプライス	5.10 5.10.1	環境への影響に社内でコストを設定することで、無駄な排出やエネルギー使用を特定して効率化し、炭素税などの将来的な価格変動に備えることができます。
シナリオ分析	5.1 5.1.1 5.1.2	シナリオ分析は、持続可能な経済への移行の一環として、組織の事業戦略を策定するための有益なツールと考えられています。



# モジュール7:

詳細解説: 気候変動重要データポイント



# 重要データポイント

再生可能エネルギー



## ポイント:再生可能エネルギー



再生可能エネルギーの使用状況を報告することで、取引先はサプライヤーの排出量の削減を追跡し、化石燃料への依存度に関連するリスクのレベルを評価することができます。

再生可能エネルギーとは、風力、太陽光、水力、地熱、持続可能なバイオマス、海洋（潮力および波力エネルギー）など、枯渇しない資源から得られるエネルギーです。化石燃料に由来している廃エネルギーや水素は含まれません

完全版  
7.30

SME版  
20.15

### 方法論:

- すべてのエネルギーデータをメガワット時(MWh)で入力する必要があります。生データがギガジュール(GJ)や英国熱量単位(Btu)など、MWh以外のエネルギー単位である場合は、MWhに換算する必要があります。
- 他のエネルギー単位からの換算係数は、[IEA](#)や[OnlineConversion.com](#)などの様々なオンライン計算ツール、あるいはEPA AP-42(附属書A)などの換算表から入手できます。

### 参考資料:

1. [CDPウェビナー:再生可能エネルギー100%の達成と取引先に波及する取り組みについて](#)
2. [CDPテクニカルノート:燃料データのMWhに換算する方法](#)



## 2026年のエネルギー関連の質問番号

重要データポイント	完全版	SME版
総エネルギー消費量(再生可能+非再生可能)	7.30 7.30.1	20.15 20.15.1 20.15.2
スコープ2排出量(特に、スコープ2のマーケット基準排出量)	7.7	20.5
低炭素エネルギー目標	7.54 7.54.1	20.16.3
再生可能エネルギー発電	7.30.9	--
低炭素エネルギー消費 (国別・エネルギー源別内訳)	7.30.15* 7.30.17*	--



\*2025年から質問番号の変更あり

## 質問

### 7.30

貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか  
選択してください。

### 7.30.1

貴組織のエネルギー消費量合計（原料を除く）  
をMWh単位で報告してください。

## 関連項目

7.30で選択したエネルギー関連活動によって、  
後続の質問で回答を求められるエネルギーの内訳  
が決まります。

## 理由

これらの質問は、排出量算定に不可欠な、貴組織の  
エネルギー消費量に関する情報を取引先に提供し  
ます。この質問を通して、貴組織の総エネルギー消  
費量を開示し、再生可能エネルギーと非再生可能エ  
ネルギーを区別することができます。

## ガイダンス

購入または取得した電力、蒸気、熱、冷房に関する  
情報は、『GHGプロトコル スコープ2ガイダンス』の  
5.3.1節および付録Aに記載されています。



## 質問

### 7.30.15

報告年度において、ゼロ排出またはほぼゼロ排出の排出係数で算定した電力購入の詳細を記載してください。

### 7.30.17

報告年における貴組織の低炭素熱、蒸気、および冷熱の購入について、国/地域別に詳細をお答えください。

## 関連項目

この質問は、7.30.1の「購入または取得した電力の消費」の列において、「再生可能エネルギー源からのエネルギー量(単位:MWh)」または「非再生可能エネルギー源のうちゼロまたはほぼゼロ排出源からのMWh」のいずれかの欄にゼロより大きい数値を報告した場合のみ表示されます。

## 理由

これらの質問は、低炭素エネルギーの積極的な調達に関する貴組織の詳細について、情報を求める取引先に対して透明性を高めるものです。

## ガイダンス

CDPでは、エネルギー関連の報告を支援するためのテクニカルノートをいくつか提供しています。  
「[情報開示の方法](#)」ページから、バイオ燃料や燃料の定義などに関するCDPのテクニカルノートをご参照ください。



# 重要データポイント

排出削減目標



## ポイント: 排出削減目標



目標設定は、排出削減に取り組む意思を示すとともに、環境戦略に方向性と枠組みを提供します。



完全版  
7.53、7.53.1、7.53.2  
7.54

SME  
20.16、20.16.1、  
20.16.2

### 排出削減目標の構成要素:

- 目標の種類:
  - 総量(トンCO<sub>2</sub> e)
  - 排出原単位(活動単位当たりのCO<sub>2</sub> eトン)
- 基準年
- 目標年
- 対象範囲
- 基準年からの削減目標(%または Mt CO<sub>2</sub> e)

### ベストプラクティス:

- パリ協定の目標(地球温暖化を産業革命前比で2°Cを大幅に下回る水準に抑え、1.5°Cに抑えるための努力を追求すること)を達成するために必要な、最新の気候科学に沿った目標を設定すること。
- 詳しくはSBTiのウェブサイトの詳細を参照。

# 科学に基づく目標の設定がもたらす影響

80%

科学に基づく目標の設定により、**戦略の一貫性と長期的なビジョンが向上したと評価した企業の割合**

76%

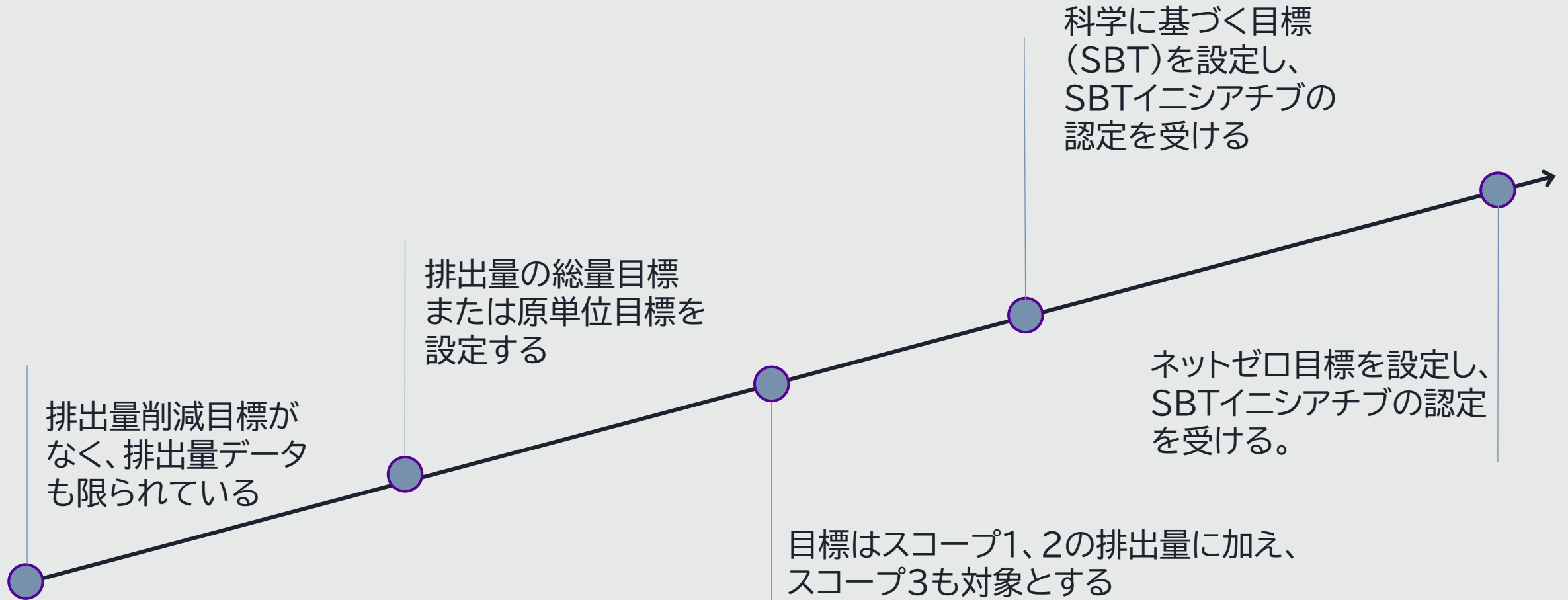
科学に基づく目標の設定が**投資家の信頼にプラスの影響を与えた**と評価した企業の割合

90%

科学に基づく目標の設定が**自社の気候変動対策への意欲にプラスの影響を与えた**と評価した企業の割合

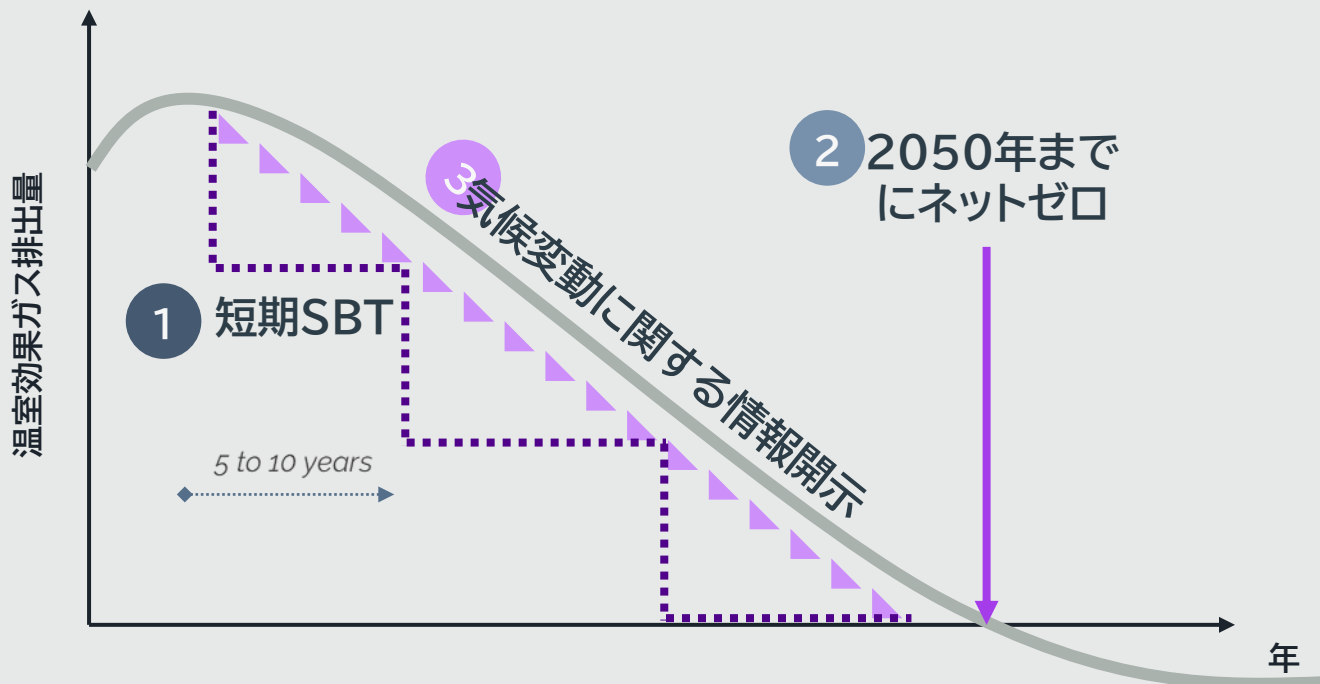


# 目標設定のプロセス



# SBTの概要

科学に基づく目標(サイエンス・ベースド・ターゲット)とは？



- 1 **短期目標:**地球温暖化を1.5°C未満に抑えることに整合するペースで排出量を削減するための短期的な措置を講じていることを保証する;
- 2 **長期目標:**企業が今後進むべき方向性を明確にし、長期的な戦略および投資判断の指針とする;
- 3 **年次開示:**気候戦略がどのように実施されているかを可視化し、目標に対する進捗状況を透明性をもって開示する;

科学に基づく目標は、気候変動による最悪の影響を防ぐために、企業が温室効果ガス(GHG)排出量をどれだけ、どのくらいのスピードで削減すべきかを示すものです。



# 目標策定

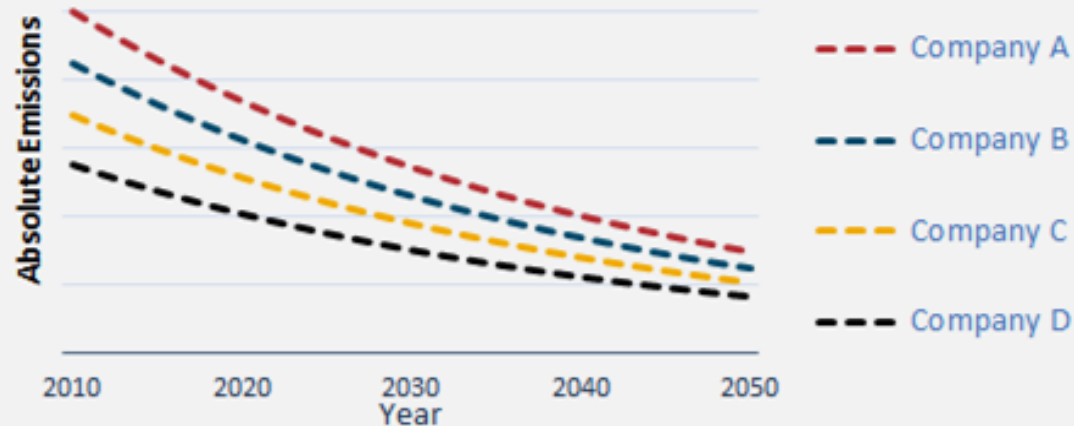
## スコープ1および2の目標設定手法

### 総量削減

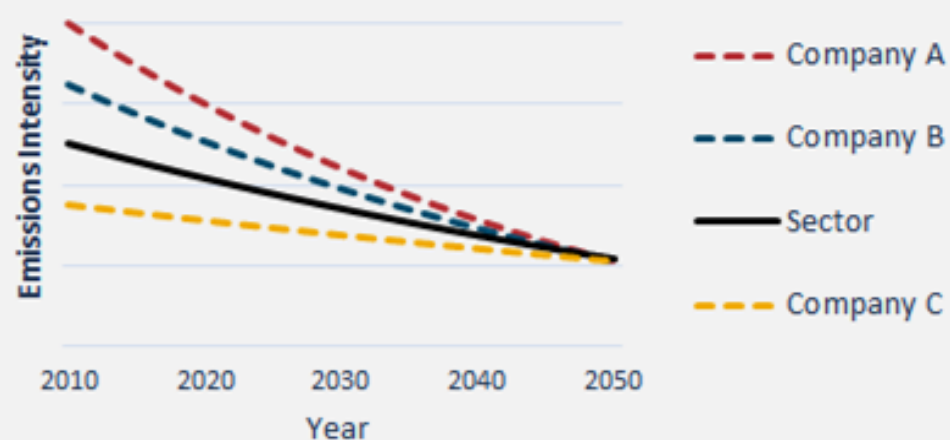
- 全セクター(発電を除く)
- 全企業が同割合の削減率を設定
- IPCCの炭素予算シナリオ

### SDA (セクター別脱炭素化アプローチ)

- 同質なセクター
- 企業ごとに異なる削減率を設定
- IEA等セクター別炭素予算



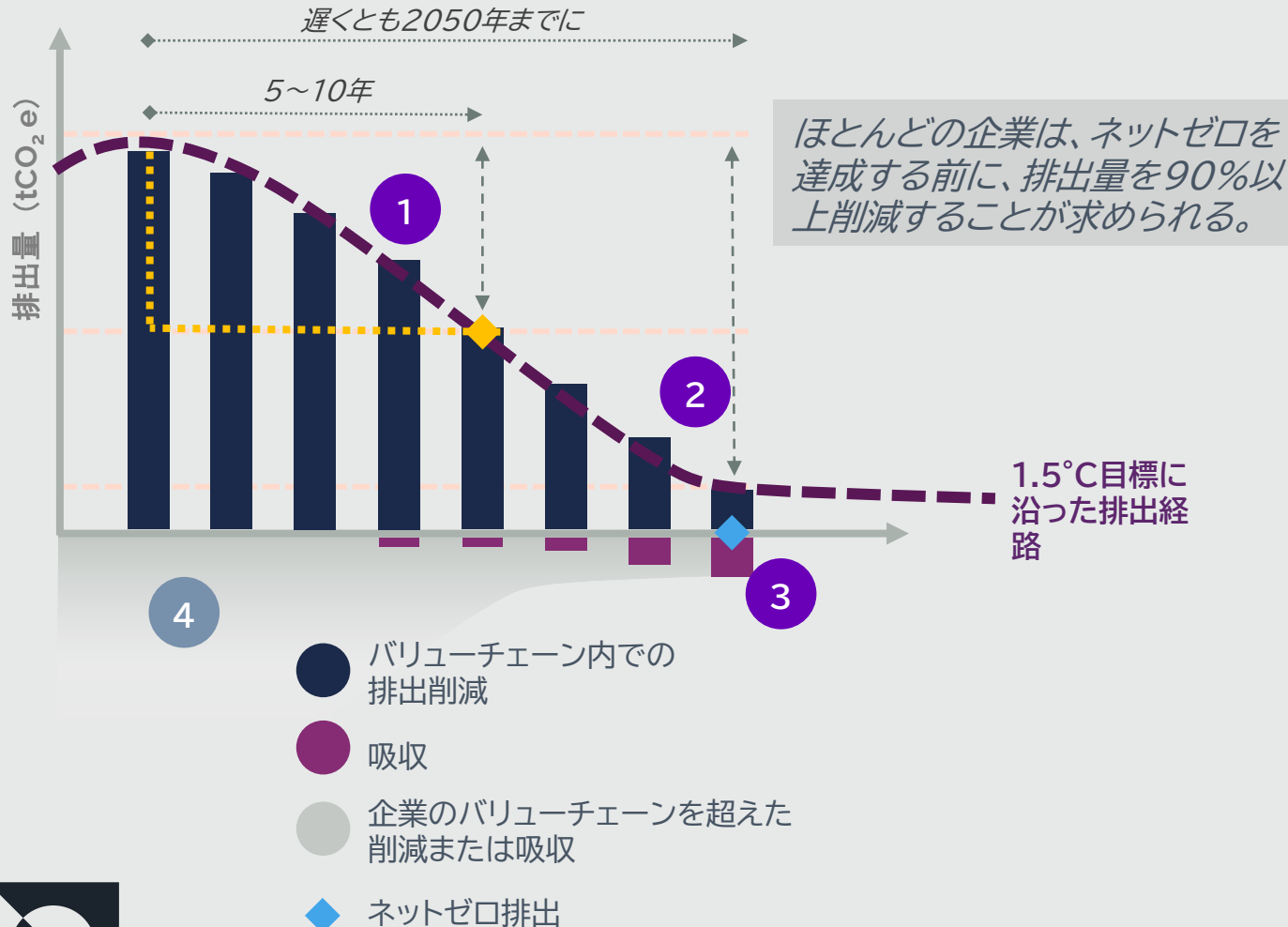
縮小



収束



# ネットゼロ目標の概要



- 1** 短期的な科学に基づく目標を設定する：  
1.5°Cの温室効果ガス排出削減経路に沿った5~10年単位の排出削減目標
- 2** 長期的な科学に基づく目標の設定：  
2050年までに、1.5°Cシナリオに沿った残留レベルまで排出量を削減する目標
- 3** 残留排出量の相殺：  
企業が長期SBTを達成した際に大気中に放出される温室効果ガス(GHG)は、大気からの炭素の恒久的な除去および貯留を通じて相殺されることが求められています。
- 4** バリューチェーンを超えた排出削減：  
ネットゼロへの移行において、企業は自社のバリューチェーンを超えた排出削減に向けた措置を講じるべきである。例えば、高品質な管轄区域別REDD+クレジットの購入、あるいは直接空気回収(DAC)や地中貯留への投資など

● 必須 ● 推奨





# 重要データポイント

スコープ3および排出量の検証



# 排出量算定について

事業活動に伴う排出量

## スコープ1

報告企業が直接排出する温室効果ガス

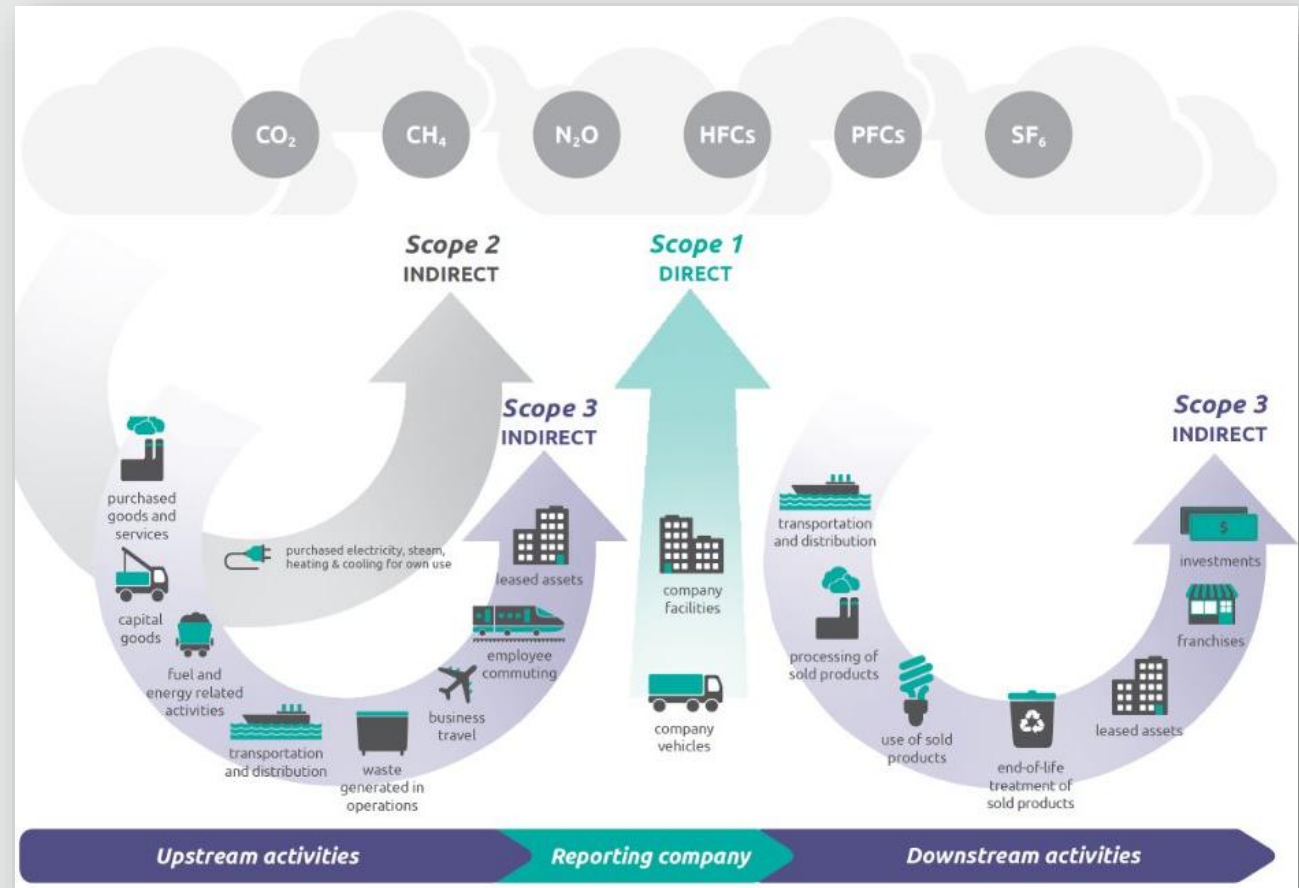
## スコープ2

報告企業のエネルギー使用により他者が排出する温室効果ガス

バリューチェーン上の排出量

## スコープ3

上流(サプライチェーン)と下流(製品の使用)の両方の排出を含む、報告企業のバリューチェーンで発生するすべての間接的なGHG排出(スコープ2には含まれません)。



リンク : 温室効果ガスプロトコル : コーポレート・スタンダード



## ポイント：排出データ – スコープ3



スコープ3、バリューチェーン排出量-事業に関連して発生するが、所有または管理していない排出源からの他のすべての排出量。

例：  
購入した商品とサービス、輸送と流通、および販売された製品の使用

完全版  
7.8

SME版  
20.7



スコープ3排出量の算定方法として、GHGプロトコルは、企業の事業活動の上流および下流における15の活動カテゴリーを含むScope 3スタンダードを提供しています。関連するすべての計算方法に関する詳細なテクニカルガイダンスは、スコープ3基準の補足文書であるスコープ3テクニカルノートに記載されています。

### 参考資料：

1. [CDPのスコープ3カテゴリーテクニカルノート\(英\)](#)
2. [温室効果ガスプロトコル 企業バリューチェーン\(スコープ3\)算定・報告基準\(英\)](#)
3. [温室効果ガスプロトコル スコープ3算定ガイダンス\(英\)](#)
4. [ウェビナー：スコープ3の影響の算定と削減方法\(英\)](#)
5. [グリーン・バリューチェーンプラットフォーム | 環境省](#)

# スコープ3のカテゴリーに関する

## カテゴリーの関連性

- GHGプロトコルでは、スコープ3排出量を15のカテゴリーに分類しています。
- 企業は、自社の事業に関連するカテゴリーを評価し、決定する必要があります。
- ベストプラクティスとして、関連する全てのカテゴリーについて測定・報告を行う必要があります。

## 主要なカテゴリー

- 多くの取引先は、サプライヤーに対して少なくともカテゴリー1(購入品)の報告を求めています。業種によってはその他のカテゴリーも対象となります。

Criteria	Description
Size	They contribute significantly to the company's total anticipated scope 3 emissions (see section 7.1 for guidance on using initial estimation methods).
Influence	There are potential emissions reductions that could be undertaken or influenced by the company (see box 6.2).
Risk	They contribute to the company's risk exposure (e.g., climate change related risks such as financial, regulatory, supply chain, product and customer, litigation, and reputational risks) (see table 2.2).
Stakeholders	They are deemed critical by key stakeholders (e.g., customers, suppliers, investors, or civil society).
Outsourcing	They are outsourced activities previously performed in-house or activities outsourced by the reporting company that are typically performed in-house by other companies in the reporting company's sector.
Sector guidance	They have been identified as significant by sector-specific guidance.
Other	They meet any additional criteria for determining relevance developed by the company or industry sector.



## ポイント：検証



GHG排出量データの検証/保証は、CDPに認定を受けた独立した第三者によって実施されるプロセスです。

完全版  
7.9

SME版  
20.8

検証が重要な理由:

- 内部プロセスの改善
- ステークホルダー(顧客、投資家など)に対するデータの信頼性の向上
- リスクと機会の特定
- 評価の向上、競争優位性の獲得
- 規制および法令への整合(例:非財務報告)
- 運用上の排出量の正確な把握

このような理由から、CDPは環境報告におけるグッドプラクティスとして検証と保証を推奨しています。検証情報は、完全版質問書のスコアリング基準の中でも非常に重要です。

参考資料:

1. [CDP検証ガイダンス\(日\)](#)
2. [気候データの第三者検証がもたらすビジネス上のメリット](#)
3. [CDP検証に関するよくある質問\(英\)](#)



# 重要データポイント

サプライチェーンに関する質問



## ポイント：排出原単位算出の例



完全版  
7.45

SME版  
該当なし

### 売上高を用いた排出強度の計算式

$$\text{GHG排出原単位 (MT CO}_2\text{e/売上高)} = \frac{(\text{スコープ1総排出量}) + (\text{スコープ2総排出量})}{(\text{年間総売上高})}$$

### 売上を用いた排出原単位の計算例

$$0.06 \text{ MT CO}_2\text{e / 円} = \frac{300,000 \text{ MT CO}_2\text{e}}{5,000,000 \text{ 円}}$$

## ポイント:排出量の割り当て



GHG排出量を顧客に割り当てることで、報告期間中に顧客に販売された商品や製品に関連する排出量を明確にすることができます。

割り当てることで、以下の点に役立ちます。

- サプライチェーン排出量のより良いモデル
- 目標に向けた進捗への貢献度を評価する
- コラボレーションの機会を特定し、優先順位を付ける

完全版  
7.26

SME  
20.12

GHG排出量を割り当てる際に考慮すべきデータポイント

- 排出範囲(例:スコープ1/スコープ2/スコープ3)
- 割り当てレベル(例:施設/ビジネスユニット/全社)
- CO2eのトンでの排出量
- 割り当て方法(例:収益/市場価値または商品の数量/その他の物理的要因に基づく割り当て)
- 検証

参考情報:

1. ウェビナー:排出量の割り当て (英)
2. GHGプロトコルスコープ3会計基準第8章 (英)

顧客企業から要請を受けた場合にのみ表示される質問に対する回答は、CDPの回答を非公開にするか公開にするかにかかわらず、要請元企業にのみ表示されます。



# 割り当て方法

顧客企業への排出量の割り当てには、  
様々なアプローチがあります。

## 物理的割り当て係数

- 質量
- 体積
- エネルギー
- 化学
- 単位数
- その他の物理的要因

## 経済的割り当て係数

- 市場価値
- 支出

※ こちらは主要な手法を示しており、これ以外の手法  
が認められないということではございません。



# ポイント:排出量の割り当て



完全版  
7.26

SME版  
20.12

## 貴組織の売上額に対して、取引先が占める割合(取引額)に基づき 排出量を割り当てる計算式

$$\text{温室効果ガス排出量の割り当て} = \frac{\text{取引先との取引額}}{\text{総売上額}} \times \text{スコープ1またはスコープ2の温室効果ガス総排出量}$$

## 取引額に基づき排出量を割り当てる具体例

$$\begin{array}{l} \text{要請元へのスコープ1温室} \\ \text{効果ガス排出量の割り当て} \\ \text{250トンCO}_2\text{e} \end{array} = \frac{\begin{array}{l} \text{要請元取引先との取引額} \\ \text{5000万円} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{総売上額} \\ \text{200億円} \end{array}} \times \begin{array}{l} \text{10万トンCO}_2\text{ e} \\ \text{(全社スコープ1温室効果} \\ \text{ガス排出量)} \end{array}$$

## ポイント:協働の機会



取引先との協働の機会について報告することで、貴組織は環境リスクの低減を図るとともに、貴組織および取引先の双方に利益をもたらす機会の創出に向けて、サプライチェーンメンバーとの連携方法を提案することができます。

完全版  
5.12

SME版  
18.4

考慮すべきデータポイント:

- 環境課題
- イニシアチブのカテゴリー
  - 認証
  - 調達条件の変更
  - サプライヤーの業務への変更
  - コミュニケーション
  - イノベーション
  - 物流の変革
  - 共同行動の促進
  - 取引関係におけるサステナビリティ評価
  - トレーサビリティと透明性

サプライチェーンに関する質問への回答は、CDPの回答を非公開にするか公開にするかにかかわらず、要請元企業にのみ表示されます。



# 重要データポイント

ベストプラクティスに関するその他の詳細データポイント



# その他の詳細データポイント

気候移行計画	5.2
--------	-----

気候移行計画を策定することで、貴組織が長期的な地球規模の気候目標に沿って行動しており、ネットゼロカーボン経済においても貴組織のビジネスモデルが引き続き有効であることを取引先に示すことができます。

インターナル・カーボンプライス	5.10	5.10.1
-----------------	------	--------

環境への影響に社内でコストを設定することで、無駄な排出やエネルギー使用を特定して効率化し、炭素税などの将来的な価格変動に備えることができます。

シナリオ分析	5.1	5.1.1	5.1.2
--------	-----	-------	-------

シナリオ分析は、持続可能な経済への移行の一環として、組織の事業戦略を策定するための有益なツールと考えられています。

[気候変動に関するCDPテクニカルノート](#) (英)

[カーボンプライシング設定に関するCDPテクニカルノート](#) (英)

[シナリオ分析に関するCDPテクニカルノート](#) (英)



# ベストプラクティスと 主なリソース



# 報告に関するヒント

- 空白のセル、誤り、不整合を避けてください。
- **スコアリング基準とガイダンス**を参照して質問書を確認し、各質問のすべての基準を満たしていることを確認してください。
- 質問書内の**本のアイコン(ブックアイコン)**をクリックして、各質問のガイダンスを開いてください。
- **定性的な回答**については、明確な説明、根拠、および自社固有の回答を記載してください。
- ステークホルダーへの働きかけおよび質問書回答を担当する**チームメンバー**を特定し、**割り当ててください**。
- 要請元の取引先が具体的に提示した**質問**やデータ項目を、**優先的にご対応**ください。

**CDP 2026 開示情報:**  
重要な日程、ガイダンスやリソースへのリンク、主な変更点などが含まれます。

**開示方法:**  
開始方法のステップバイステップガイド、CDPの技術的ガイダンスなどを掲載しています。

**CDP質問書、スコアリング基準**  
**およびガイドライン**



# マイポータルから 公開回答を検索

## 2025年の質問書への回答

10,000を超える2025年の質問書への「公開」回答のリストを開覧し、表示したい回答を追加してください。

回答を開覧

あと100個の回答を表示できます

貴社のメンバーシップで利用できる100個中0個の回答に既にアクセスしています。

選択済みの回答が表示されます。

### 質問書にアクセス

2026年6月に情報開示サイクルが開始した後でのみ可能となるステップがあります。それまでは次のステップを確認し、準備を整えてください。

2026年6月にサイクルが開始します

1 情報開示提出責任者

2 質問書を設定

1件の回答要請があります

1の組織が貴組織にCDPを通じて情報を開示するよう要請しています。

CCDP

回答要請を確認

回答事務費用

CDPを通じて環境情報の開示をする場合、対象企業には回答事務費用が発生します。非営利団体として、CDPの運営資金は、幅広い出資により構成されています。回答事務費用は、CDPがグローバル規模で継続的にサービスを提供し続けるための運営コストに充てられます。

費用が選択されていません

事務費用のオプションを見る

データ・プロダクトとレポート

CDP旧プラットフォームにあるすべてのデータ・プロダクトと情報開示データを表示します。

2025年の質問書への回答 **新規**

組織が公開した回答を表示/ダウンロードする国/地域と事業活動に基づいて回答を選び、条件が類似した組織の回答を見ることができます。

回答を表示

### 表示する回答を選択する

国/地域、産業、活動に基づいて回答を選び、条件が類似した組織の回答を見ることができます。リストには2025年の質問書に対して一般に公開されたすべての回答が含まれ、2025の組織情報が表示されます

あと100個の回答を表示できます

貴社のメンバーシップで利用できる100個中0個の回答に既にアクセスしています。

回答を検索

国

産業

活動グループ

More filters

11533 results

<input type="checkbox"/>	組織名	国/地域	主要産業	主要活動グループ	主要活動
<input type="checkbox"/>	' LAJOSMIZSEI FOLPLAST ' Műanyagfeldc	Hungary	Manufacturing	Plastic product ...	Plastic products
<input type="checkbox"/>	(ACIP) Alexandria Company for Industrial	Egypt	Manufacturing	Plastic product ...	Plastic products
<input type="checkbox"/>	(SAMOA) FLOURISH THRIVE DEVELOPME	Taiwan, China	Manufacturing	Leisure & home ...	Sporting goods
<input type="checkbox"/>	100 PERCENT GROUP LIMITED	United Kingdom	Services	Web & marketin...	Marketing
<input type="checkbox"/>	1000mercis SA (holding of Numberlv)	France	Services	IT & software de...	Software



# ガイダンスとサポート

- ウェブサイトより開示ガイダンスページをご覧ください。
- CDP質問書について
- 利用可能なすべてのガイダンス文書まとめ
- 質問書とガイダンス、スコアリング基準

## 2026年のCDPを通じた情報開示

環境情報の開示は、組織が即時的な価値をもたらすデータやインサイトを明らかにし、長期的なレジリエンスを構築することを可能にします。

2025年には、23,100を超える組織がCDPを通じて情報開示を行い、開示されたデータに対する継続的な市場の需要に応えました。本年、CDPでは報告プロセスの簡素化に注目し、ガイダンスをより明確にするなどの変更を加えています。詳しくは、以下のFAQをご覧ください。

質問書とガイダンス、スコアリング基準がCDPポータル内で公開されました。

[質問書とガイダンス、スコアリング基準を見る](#)

依頼者は、ポータル上で依頼リストの作成や送信も行うことができます。[依頼方法の詳細については、こちらをご覧ください。](#)



# CDPのヘルプセンター ご利用方法

- <https://help.cdp.net/>
- ナレッジベース:すぐに役立つセルフヘルプ記事
- 「マイサポート」- ログイン後、CDPへのチケットを発行できるようになり、アカウントにリンクされた問い合わせが可能。
- 多言語対応:英語、中国語(簡体字)、日本語、ポルトガル語、スペイン語



# CDPサプライヤー・サポート・トレーニングのご案内

CDPは、要請のあったサプライヤーに環境報告の利点や、質問書の重要項目等を知っていただくために、複数の言語でサプライヤーのグループトレーニングを開催しています。

シリーズ名	日付範囲	地域登録ページ	対応言語
2026年情報開示サイクルの紹介	6月中旬～下旬	<a href="#">アジア太平洋</a>	英語
SMEシリーズ:気候変動 SMEシリーズ:水セキュリティとフォレスト	6月中旬～下旬	<a href="#">中国</a>	マンダリン
気候変動:初心者向け 気候変動:経験者向け	6月中旬～下旬	<a href="#">ヨーロッパ</a>	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語
水セキュリティ	6月中旬～下旬	<a href="#">日本</a>	日本語
フォレスト	6月中旬～下旬	<a href="#">ラテンアメリカ</a>	ブラジル・ポルトガル語
		<a href="#">ラテンアメリカ</a>	スペイン語
		<a href="#">北米</a>	英語

日本においては、[ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社](#)をお招きし、SSBJ基準の概要、情報開示における第三者検証のプロセスおよびそのポイント、ならびに保証における内部統制の確認ポイントについて解説いただきます。6月中に[専用ページ](#)に録画を公開いたします。



# 開示に関するその他の注意点

## 要請の承諾

- 要請は開示サイクルの途中で追加される場合もあるため、定期的を確認し、忘れず「承諾」していただくようお願いいたします。これにより、提出時にすべての要請元がデータを受け取れるようになります。
- 貴組織の報告範囲内に、取引先からの要請を受けている子会社がある場合があります。これらの要請を必ず確認し、該当する場合は受理していただきますようお願いいたします。
- CDP記事:[要請の承認方法](#)

## CDPの言語

- 開示には、CDPの主要言語のいずれかを選択できます。なお、スコアリングの対象となるのはCDPの主要言語のみです。「その他」を選択した言語での回答はスコアリングされませんのでご注意ください。
- 主要言語には、英語、日本語、簡体字中国語、ブラジルポルトガル語、スペイン語が含まれます
  - 特記事項:ポルトガル語で開示する場合は、「ブラジルポルトガル語」を選択してください。

[CDPナレッジベース](#)よりその他のサポート記事をご覧ください。



## 2026年の情報開示のためのリソース

- [質問書と報告ガイダンス](#)
- [CDP2026質問書における変更点](#)
- [CDPの開示およびスコアリング関連資料](#)
- [CDP ヘルプセンター](#)および[サポートチケット用ナレッジベース](#)
- [よくある質問\(FAQ\)](#)

### CDP炭素会計ウェビナー（英）

- [GHG排出量算定（入門編）（日）](#)
- [スコープ1排出量トレーニング（英）](#)
- [スコープ2排出量トレーニング（英）](#)

## GHG排出量算定リソースと科学的根拠に基づく目標リソース

- [環境省 - グリーン・バリューチェーンプラットフォーム（日）](#)
- [環境省 - 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度ウェブサイト（日）](#)
- [GHGプロトコル企業基準（英）](#)
- [GHGプロトコル計算ツール（英）](#)
- [中小企業気候ハブ計算機（英）](#)
- [科学に基づく目標に関するCDPテクニカルノート（英）](#)
- [よくある質問-科学に基づく目標イニシアティブ（英）](#)



**スコアリング対象となる**

**回答提出期限**

**2026年9月14日週**



# よくある質問

- 質問書全体に回答できない場合はどうすればよいですか？
  - CDPでは、まったく回答しないよりも、部分的な回答の提出を推奨しています。
  - 全てに回答するのが難しい場合、取引先から指定された重要な質問に優先的にご回答ください。
  - 初めてのご回答において完璧さは求めておりません。できる限りの対応をお願いしております。
- 回答事務費用を支払う必要がありますか？
  - 2026年、取引先の企業からのみ要請を受けて回答する場合は、回答事務費用を支払う必要はありません。
  - 一方で、CDPキャピタルマーケットツ署名機関からも情報開示を求められている場合には、回答事務費用のお支払いが必要となります。

詳細な説明については、CDPのウェブサイト「[FAQs\(よくあるご質問\)](#)」をご参照ください。



# よくある質問

- 非英語圏の国に拠点がある場合でも、CDPはサポートしてくれますか？
  - CDPには、サプライヤーがCDPの情報開示要請を理解できるよう支援するグローバルスタッフが在籍しています。現地でのサポート依頼や、各国で開催されるワークショップやウェビナーについて知りたい場合は、多言語に対応しているCDPヘルプセンターをご利用ください。
  - CDPは質問書の回答を支援する複数のガイダンス文書も公開しています。
- データ保護および機密性について懸念があります。
  - サプライチェーンの質問で報告されたデータおよび情報は、要請元企業にのみ公開されます。他の企業はその情報にアクセスできません。
  - 取引先からのみ要請を受けている場合、Aスコアを除き、スコアは公開されません。(Aスコアは公開されます。)
  - CDP質問書に関する利用規約はこちらでご覧いただけます。



本日はご参加いただきありがとうございました。

ご不明点ございましたら、ポータルにサインイン後、  
ヘルプセンターよりお問い合わせください。

